

臨海セミナー

News Release

報道関係者各位

2022年4月25日

株式会社 臨海

臨海セミナー広報室

～全国有数の東大進学率を誇る横浜翠嵐高校～

合格の鍵を握るのは神奈川県公立高校 特色検査

2022年度129名の合格者を誇る臨海セミナーが受験対策説明会を実施

小学生から高校生の受験・学習指導を行う臨海セミナーは、公立高校特色検査試験に強い学習塾です。2022年度の公立高校受験では、全国有数の東大進学率（2022年第13位）を誇る横浜翠嵐高校に全塾中トップ129名の合格者を出しました。激しく変化する社会の中で、生徒たちに求められる教育も改革の時を迎えています。この状況に伴い公立高校の入試問題も従来の暗記力が合否をわける学力問題から考える力を養う特色検査が導入されています。2022年度は神奈川県18校（県共



通・選択問題)で特色検査が実施されました。特色検査とは何か？どういう能力が求められているのか、臨海セミナー難関高校受験科事業部長 飯沼 徹が4月30日、5月7日、16日に説明会を実施します。

【特色検査とは】

学力検査や面接では測れない総合的な能力や特性を測る検査で、一部の高校を除き教育委員会が問題を作っています。5教科の力を総合的に問う形式で2013年度から神奈川県の公立高校受験に組み込まれました。「自己表現検査」と「実技検査」の2種類の形式があり、横浜翠嵐高校をはじめ難関と呼ばれる公立高校の多くは「自己表現検査」を採用しています。「自己表現検査」には、実施する全ての高校で出題される共通問題と、各校が選び出題する共通選択問題で構成されており、どのような問題を選択するかで学校の特色が出る試験です。

現在の高校入試は、5教科の学力試験では差がつかないほど中学生の能力は高いものとなっています。一方、昨今のインターネットの発達により「疑問はすぐにネットで解決」といった傾向から、子供たちは考える力を失ってきています。この考える力こそが特色検査で問われる実力になります。物事を俯瞰的にみる力、どうしてこうなったと原因を考える力、そして自らその問題を解決する力が求められています。5科目学力試験は予選、特色検査は決勝戦、つまり「特色検査の結果が合否を分ける」と言っても過言ではありません。

本年4月に神奈川県教育委員会が発表した「県立高校改革実施計画（Ⅱ期）進捗状況」の重点目標には、「すべての生徒に生涯にわたる基礎となる自ら学び、考え、行動する力等を確実に育成し、自立して学校から社会へ円滑に移行できる力を育みます」と記載されています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/documents/8302/r2-3sintyoku.pdf>

予想困難な時代に、生徒たち一人ひとりが主体的にチャンスを見つけ、情報を活用し、変化する社会の中で活躍していくことができるよう、必要な資質・能力を育成していくことが、これからの教育に求められています。自らの力で問題解決をしていくこと、この力が特色検査を通して最重要視されているのではないのでしょうか。

令和4年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 選考基準一覧表の見方

★ 選考基準一覧表は、県教育委員会のホームページのほか、「募集要項」に掲載します。一覧表には、各科目の科目ごとの選考科目別の試験科目、重点化する教科、面接の「学校ごとの特色」等や実施する特色検査の種別が掲載されています。ここでは、選考基準一覧表の見方について説明します。

各実施する科目の特色と、重点化する科目の内容を記載しています。

- 各科目の標準
- 学校の設置状況、学力検査の標準、面接の標準、特色検査の標準とことごとくに取組む比率を数値で示して記載しています。
 - 特色検査を実施しない場合は、「1」と記載されています。
 - 重点化
 - 第1次選考では共通科目と学力検査、第2次選考では学力検査のうち、一部の教科について重点化する学校があります。
 - 重点化しない場合は、「1」と記載されています。

必要に応じて実施する特色検査について記載しています。

- 特色検査は、「実技検査」または「自己表現検査」を実施します。
- 実施する場合は、「実技」または「自己表現」と記載されています。
- 実施しない場合は、「1」と記載されています。
- 特別推薦選考実施の学校においては、「特別推薦」および「自己表現検査」を実施します。

学力検査の科目数を記載しています。

- 全日程では、原則5教科（国語数理科1各、1教科50分・100点満点で実施しますが、特色検査を実施する場合は、3教科にまで教科数を減らす学校があります。
- 定時制では、原則3教科（国語数科各、1教科50分・100点満点で実施します。
- 「定時制選抜制」では、原則3教科を1教科30分・50点満点で実施します。

特別推薦選考の高校・選抜制の高校

- クリエイティブスクール（県立川崎高校、県立登別高校、県立磯崎高等学校の普通科、県立大井高校、県立大和高校）では、学力検査は実施しません。また、選考の判定は取り違わず、「自己表現検査」を採用し、実施した結果と合わせて選別に活用します。なお、面接における共通の観点なく、面接はすべて「面接の評価」欄に記載されます。（選出基準前記、入学願書とともに提出する書類が記載されています。）
- 横浜国立大学付属高等学校では、面接（面接1回10分コースを除く。）および面接3回10分コースにおいて「共通選考の面接」の選考方法と併せて実施されます。
- フロントアカデミー（県立武蔵野高等学校）では、実施した結果および選考科目別の試験科目別の結果を資料として活用し、総合的に選考します。
- 選抜制の選考では、選考書および作文の結果を資料として活用し、総合的に選考します。

学力検査

学力検査は実施した科目の合計点を100点満点に換算します。○ 教科の重点を2倍まで重点化する学校があります。【2教科目で、重点化することの割合を合計し、100点満点に換算します。】

面接

面接は、面接ごとの試験科目を100点満点に換算します。○ 面接の比率を○、特色検査の比率を●とします。【特色検査の比率を1とします。】

特色検査

特色検査は、特色ごとの試験科目を100点満点に換算します。○ 特色検査の比率を○、特色検査の比率を●とします。【特色検査の比率を1とします。】

学力検査の計算式

学力検査の合計点 = (国語) × 2 + (数学) × 2 + (理科) × 2 + (社会) × 2 + (英語) × 2 + (外国語) × 2 + (総合科目) × 2 + (面接) × 2 + (特色検査) × 2

面接の計算式

面接の合計点 = (面接) × 2 + (特色検査) × 2

特色検査の計算式

特色検査の合計点 = (特色検査) × 2

選考の順位

選考の順位は、学力検査の合計点、面接の合計点、特色検査の合計点の合計点の順に決定します。○ 学力検査の合計点、面接の合計点、特色検査の合計点の合計点が同じ場合は、面接の合計点の順に決定します。○ 面接の合計点、特色検査の合計点の合計点が同じ場合は、学力検査の合計点の順に決定します。

図：令和4年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 選考基準一覧表の見方

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/63368/r4_01kijyun.pdf

次年度の特色検査対策に向け、臨海セミナーでは難関高校受験科事業部長 飯沼 徹が特色検査を踏まえた横浜翠嵐高校の魅力と合格の秘訣をお話させていただきます。

【横浜翠嵐高校への道説明会 開催スケジュール】

第2回 4月30日(土)

第3回 5月7日(土)

第4回 5月14日(土)

※いずれも午前の部：10:00～12:00 午後の部：14:00～16:00



【プログラム】

1. 横浜翠嵐高校とは
2. 高校入試制度
3. 合否を大きく分ける特色検査
4. ESC 難関高校受験科での取り組み

■演者・飯沼先生の紹介

<https://www.asahi.com/edua/article/14580780>

■横浜翠嵐合格への道 説明会ページ

<https://www.rinkaiseminar.co.jp/event/jhs/ns-setsumei/>

■横浜翠嵐説明会優先受付フォーム

<https://www.rinkaiseminar.co.jp/contact/road-to-suiran/>



【第1回説明会(4月16日開催)の様子】



第1回説明会には、午前・午後の部あわせて134名が参加されました。中学3年生だけでなく、小学生や中学1年生、2年生のご家庭も参加されていました。受験指導における「分析力」において保護者の方より多くの感想を頂きましたので、一部をご紹介します。

「細かい分析の上での指導が伝わってきた」

「入試への具体的なイメージがわいた」

「臨海セミナーの分析チームの取り組みと熱意に感動した」

「特色検査の重要性が改めてわかった」

この機会にぜひ特色検査の内容と対策をご確認ください。

【中学受験・高校受験・大学受験について臨海講師よりメッセージ】

中学受験部門

<https://www.asahi.com/edua/article/14555140>

高校受験部門

<https://www.asahi.com/edua/article/14580780>

大学受験部門

<https://www.asahi.com/edua/article/14562773>

【臨海セミナーについて】

臨海セミナーは、株式会社臨海が経営する進学塾の名称です。親身な指導が評判となり、現在は東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・大阪府を合わせて491校にて、小学生から高校生に受験・学習指導を行っています。志望校合格を目指す地域密着の進学塾として48年の歴史を誇ります。「できた」という経験を通して、子どもたちの夢、希望、可能性を未来へと繋げる指導をしています。2021年9月には、生徒数64,177名の大規模学習塾となりました。

臨海セミナーの詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.rinkaiseminar.co.jp/>

臨海セミナー塾生卒業生を対象に「臨海セミナー私の思い出プロジェクト」が稼働しています。10代から60代の卒業生が、それぞれの通塾時代の思い出を語るプロジェクトとして、誌面や動画で卒業生を紹介しています。本プロジェクトに出演してくださる卒業生を広く募集しています。

臨海セミナー私の思い出プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください。

https://www.rinkaiseminar.co.jp/50th_project.html

【株式会社 臨海について】

1974年9月にさくら塾（現上中里校）として開校し1980年、さくら塾から臨海セミナーに名称を変更。2011年に本社機能を神奈川県横浜市神奈川区金港町8-8に移転、2014年に社名を株式会社臨海に変更しました。2021年9月現在の正社員数は1,381名。生徒と共に成長を続ける講師を育てる講師育成プログラムも充実しています。

<https://rinkaigroup.com/>

【本件お問い合わせ先】

株式会社 臨海 臨海セミナー広報室 出光、齋藤、柏倉

電話 045-534-8379(広報室直通) Mail : s-idemitsu@rinkaiseminar.com